

C's ATHLETE WORKING STYLES 2020.4 Vol.1

シーズアスリート ワーキングスタイルズ

シーズアスリートは、仕事と競技の両立を目指し、障がい者アスリートへの環境提供・人材育成・社会貢献を目的とした組織です。会員の皆さまへ感謝の気持ちを込めて競技外の多彩な仕事を積極的に実施し、新たな共生社会づくりを実現していきます。



RIKIYA
KUDO

RIE
URATA

SHOTA
KAWANO

ゴールボール男子強化指導スタッフ/C's Athleteリーダー

工藤 力也 株式会社アソウ・ヒューマニーセンター 社員

今と未来のアスリート達の夢実現を支えることが私の使命。



私はシーズアスリートのリーダーとして、選手たちが世界一を目指せるようチーム運営業務を行っています。障害という壁にぶつかり一度は目標を失った私たちはスポーツと出会い新しい夢を見つけることができました。

スポーツには人に勇気や感動を伝える力があると思っています。

選手たちが世界の舞台上で戦える環境を作り、結果を残すことで支えてくださる皆様に勇気と感動を伝える。

そして選手たちの活躍が新たなファンを増やしファンの拡大が新しいアスリートの雇用につながる。このサイクルを回し、障がい者スポーツの発展と障がい者アスリートの雇用を促進していくことが私の業務であり使命です。

亡くなられた野村克也さんが言われていたように、人として社会人としての成長なくして競技者としての成長はありません。

シーズアスリートの選手は現役引退後を見据えたセカンドキャリア作りのためだけでなく、競技者として成長していくために仕事と競技の両立を行っています。

私自身、19歳で病気により視力が低下したときには文字が読めなければ社会で働くことはできないと諦め挫折をしました。

しかし今ではルーペを使って文字を拡大し、資料作成やメールでのやり取りなどパソコン業務も行っていきます。

元選手だからこそわかる“競技ができることへの感謝”と“社会で働ける喜び”をこれから出会う未来のアスリートたちへ伝えていきたいです。



ゴールボール

浦田 理恵

総合メディカル株式会社 社員

講演・研修を通じて社会貢献し、未来を切り拓いていきます。



講演会活動は私の仕事の一つです。

ご依頼は企業や学校、各種団体と幅広く、障がい者雇用の促進や障がい者スポーツの普及を目的に、これまでの体験と経験を元に講話をしています。見えないからこそ気づけた世界を一人でも多くの方に知っていただき、元気と勇気をお伝えしています。

その他の業務として、鍼灸・マッサージ師の国家資格をいかし会員様や社員の方々にマッサージを提供しています。

人それぞれ疲れ方や痛みは違うので、リピート利用者の情報を把握してその人に合った施術を行うため、常に勉強は欠かせません。

様々な変化に気づき、よりよい状態を追求していくことや、心を込めて丁寧に対応することの大切さは競技にもつながっています。そして何より、日頃から支えてくださっている方々と接する時間は、私自身のエネルギーとモチベーション向上に繋がっています。

講演会やマッサージ業務で出会う方々が喜んでくださることは、仕事における喜びのひとつでもあります。

「仕事と競技の両立」を基本理念として活動するシーズアスリートだからこそ、各メンバーの個性や価値観を尊重し合い、互いの役割に責任をもって結果を追求する力を学び、得ることができたと思っています。



車いすテニス

川野 将太

ニッセイ・ウェルス生命保険株式会社 社員

障がい者サービスへのコンサルティング・ビジネススキーム企画を目指す。



2013年にシーズアスリートに加入してからの私の主な担当業務は、四半期ごとに発行している会報誌「RECORD」の企画・編集です。

選手が出場する大会日程を元に記事内容や仕上がりの構成を考え、納品までのスケジュールをたて制作部署と何度も打ち合わせを重ねて作り上げています。ご支援くださっている会員の皆さまや講演会、体験会等で新たなご縁をいただいた方々により深くシーズアスリートを知ってもらい、誌面を通して競技の魅力や選手たちを身近に感じてもらえる内容になることを心がけています。

私は事故の後遺症で握力がなく指もほとんど動かないという障害のため、キーボード操作や文字を書くといった動作は遅いですが、自分に残された機能を最大限にいかし企画・構成しています。

会報誌「RECORD」の発行業務を担当することで、これまで以上に仕事に対する責任感や創造力、向上心を養うことができました。また、車いすテニス以外の競技知識を学べたことは、会員企業様との会話や講演会活動などにも役立っています。

競技を引退した後のセカンドキャリアとしては、今の業務に関連するような仕事に就くこと、また現役中に多くの国々を遠征した経験をいかし、グローバルな視点でバリアフリーやユニバーサルデザインの重要性和推進を企業や地域に伝えていきたいと思っています。そのためには今以上に知識やスキルを身につける必要がありますが、仕事と競技の両立を理念として活動しているシーズアスリートだからこそ実現できるプランだと考えています。



【お問合せ先】障がい者スポーツ選手雇用センター「C's Athlete」事務局
福岡市中央区天神2-3-41 福岡朝日会館14階
(株)アソウ・ヒューマニーセンター内 担当:工藤/黒田

TEL:092-711-1800 FAX:092-733-0712

シーズアスリート

検索

<http://athlete.ahc-nef.co.jp/>